

四国遍路とは？

四国遍路は、四国にある 88 の仏教寺院を訪れることを中心とした独特な体験です。それらの寺院は、四国（徳島県、高知県、愛媛県、香川県）全体に点在しており、お寺からお寺へと全行程を歩くと 1,400 キロ以上の旅になります。巡礼者たちは、その道中でいくつもの街や村、森、農地などを通ります。また、登山道をハイキングしたり、太平洋や瀬戸内海に沿って旅をしたり、様々な地形を目にしたりします。

巡礼者は、単一のルートを辿る必要はありません。お遍路が日常生活の大きな要素となっている四国を、自分だけの経路で巡る計画を立てることもできます。地元の人々は、巡礼者に食べ物や飲み物、ささやかな贈り物、さらには泊まる場所をも提供するという習慣を、何世紀にもわたって続けています。四国遍路を行う理由は 1 つではありません。ある人にとっては精神的な行為であり、ある人にとっては発見の旅ですが、多くの人にとっては観光の一形態です。いくつかの基本事項を尊重し、敬意と寛容さをもって巡礼に取り組めるのであれば、宗教的信念や所属に関係なく、誰もが参加できます。